

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、国立国際医療研究センター病院 循環器内科及びエイズ治療研究開発センター(以下、ACC)では、本センターで保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究を実施します。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名]

HIV 感染者における心房細動治療の現状及びカテーテルアブレーションの効果に関する網羅的研究

[研究対象者]

2010年1月1日～2023年12月31日までの間に、国立国際医療研究センター病院ACCをHIV感染症のため初診で受診された方。及び同期間中に国立国際医療研究センター病院循環器内科で心房細動と診断され、心房細動に対するカテーテルアブレーション治療をうけられた方。

除外基準：17歳以下

[利用する診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、病歴、HIV治療内容、血液検査データ、生理検査データ、投薬情報、合併症の有無  
カルテから上記に該当する情報を収集し利用します。

[利用の目的] 心房細動は医療現場において最も高頻度に遭遇する不整脈疾患であり、脳卒中、心筋梗塞、心不全及び死亡などのあらゆる心血管有害事象のリスクと関連する疾患です。心房細動を引き起こすメカニズムの1つとして「炎症」の関与が報告されています。HIV感染症も病態の中心は「炎症」であり、心房細動と密接に関連している可能性があります。そこで本研究ではHIV感染者において心房細動に罹患している方の割合(有病率)及び心房細動発生の危険因子を検証し治療の現状及び効果を調査します。2010年1月1日～2023年12月31日に当院ACCを初診で受診した方の心電図データを収集し、心房細動に罹患している方の割合(有病率)を調査し、心房細動発症の危険因子を評価します。その後心房細動を発症している群と非発症群で背景因子の比較を行い、心房細動発症の危険因子を評価します。さらに心房細動に対する非薬物治療(カテーテルアブレーション)を施行している群では、非HIV感染心房細動患者との治療成績の比較を行います。この研究によりHIV感染者の心房細動有病率・危険因子・さらには非薬物治療であるカテーテルアブレーションの治療効果を知る事が可能となり、HIV感染心房細動患者における治療方針の指針に有益な情報となります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。(遺伝子解析研究：無)

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2025年9月30日までの間(予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用する診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立国際医療研究センター 理事長 国土 典宏

研究責任者：国立国際医療研究センター 循環器内科 科長 廣井透雄

研究内容の問合せ担当者：国立国際医療研究センター 循環器内科 榎本善成

電話：03-3202-7181 (代表) (応対可能時間：平日9時～16時)

作成日：2023年12月 24日

第 2 版